



農林水産省登録第21998号
有効成分:プロジアミン:65.0%
毒物及び劇物取締法:非該当

包装:250g×10袋
有効年限:3年

クサブロックの詳細情報・製品安全データシートはこちらから
<http://www.syngenta.co.jp/golf/kusablock/>

特長

- ◎少ない薬量で、安定した処理層を形成し、長期間抑草します
- ◎寒地型西洋芝への安全性も高くベントグリーン周りでも使用できます
- ◎土壌吸着性が高く、蒸気圧が低いため流亡・揮散の心配がありません



適用雑草と使用方法

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	1m ² 当り使用量		本剤の使用回数	使用方法	プロジアミンを含む農薬の総使用回数
				薬量(g)	希釈水量(ml)			
日本芝	—	一年生イネ科雑草	春期雑草発生前 (芝生育期)	0.08～0.1	250～300	2回以内	全面土壌散布	2回以内
		一年生雑草 (キク科を除く)	秋期雑草発生前 (芝生育期)	0.12～0.24				
西洋芝 (パーミュダグラス)		一年生イネ科雑草	春期雑草発生前 (芝生育期)	0.08～0.1	250～300			
		一年生雑草 (キク科を除く)	秋期雑草発生前 (芝生育期)	0.12～0.16				
西洋芝 (ベントグラス) (ブルーグラス)	—	一年生イネ科雑草	春期雑草発生前 (芝生育期)	0.06～0.1	200～300			
			秋期雑草発生前 (芝生育期)	0.12～0.24				
樹木等	公園、堤とう、駐車場、 道路、運動場、宅地、 のり面、鉄道等	一年生雑草 (キク科を除く)	春期雑草発生前 (芝生育期)	0.12～0.16	250～300	2回以内	植栽地を除く樹木等の 周辺地に全面土壌散布	2回以内
			雑草発生前	0.16～0.32				

1. 早めの散布が大切

雑草の発生前までに散布し、時期を失しないようにしてください。既に雑草が発生している場合は茎葉処理型除草剤を組み合わせしてお使いください。

2. 広葉雑草防除剤と組み合わせ

広葉雑草(特に、キク科雑草)が多発する場所では、アググリーン顆粒水和剤やアシュラスター液剤等の広葉雑草防除剤を組み合わせお使いください。

効果・被害等の注意

- 使用量に合わせて薬液を調製し、使いきってください。
- 本剤の所定量を所定量の水にうすめ、よくかきまぜてから散布してください。
- 発芽後の雑草に対しては、効果が劣るので必ず雑草発生前に時期を失しないように散布してください。
- キク科雑草に対しては効果がないので、それらの優占する所では使用しないでください。また、ゴルフ場においてはグリーンでは使用しないでください。
- 散布に使った器具類は良く水洗いして、他の用途に使用する時は影響のないように注意してください。
- 激しい降雨の予想される場合は、使用をさけてください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合には病虫害防除所等関係機関の指導を受けてください。

安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン、長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 公園、堤とう等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係ない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
- 使用残りの薬剤は必ず安全な場所に保管してください。

環境保護上の注意

公園、堤とう等で使用する場合、特に以下のことに注意してください。

- 本剤の飛散あるいは流出によって有用植物に被害が生じることはないよう十分に注意して散布してください。
- 散布薬剤の飛散によって自動車やカラートタンの塗装等へ影響を与えないよう、散布地域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分注意してください。
- 水源池、養殖池等に本剤が飛散、流入しないよう十分に注意してください。

水産動植物に関する注意

- 水産動植物(藻類)に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

貯蔵上の注意

- 直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。



バリケード®

フロアブル

農林水産省登録第22082号
有効成分：プロジアミン：40.7%
毒物及び劇物取締法：非該当

包装：500mL×10本
有効年限：3年

バリケードフロアブルの詳細情報・製品安全データシートはこちらから
<http://www.syngenta.co.jp/golf/barricade/>

特長

- ◎安定した土壌処理層により抜群の除草効果を示します
- ◎フロアブル製剤のため、計量・調製が簡単で作業効率の向上に役立ちます
- ◎幅広い場面で使用ができます



適用雑草と使用方法

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	1m ² 当り使用量		本剤の使用回数	使用方法	プロジアミンを含む農業の総使用回数
				薬量 (mL)	希釈水量 (mL)			
日本芝 西洋芝 (パーミュラダグラス)	—	一年生雑草 (キク科を除く)	春夏期雑草発生前	0.125 ~ 0.25	200 ~ 300	2回以内	全面土壌散布	2回以内
			秋冬期雑草発生前	0.14 ~ 0.26				
樹木等	公園、庭園、堤とう、 駐車場、道路、運動場、 宅地、のり面、鉄道等		雑草発生前	0.25 ~ 0.5	100 ~ 250		植栽地を除く樹木等の 周辺地に全面土壌散布	

1. 早めの散布を実施しましょう

雑草の発生前までに散布し、時期を失しないようにしてください。既に雑草が発生している場合は茎葉処理型除草剤を組み合わせ使用してください。

2. 広葉雑草防除剤と組み合わせ

広葉雑草(特にキク科雑草)が多発する場所では、アググリーン顆粒水和剤やアシュラスター液剤等の広葉雑草防除剤を組み合わせ使用してください。

効果・薬害等の注意

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 使用前によく振ってから使用してください。
- 発芽後の雑草に対しては、効果が劣るので必ず雑草発生前に時期を失しないように散布してください。
- キク科雑草に対しては効果がないので、それらの優占する所では使用しないでください。
- 激しい降雨の予想される場合は、使用をさけてください。
- 本剤の散布液を調製した容器ならびに散布器具は使用後十分に洗浄し、他の用途に使用する場合は薬害の原因にならないように注意してください。また、洗浄した廃液は、河川などに影響がないように適切に処理してください。
- 使用後の容器は圃場などに放置せず、環境に影響のないように適切に処理してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 公園、堤とう等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
- 使用残りの薬剤は必ず安全な場所に保管してください。

環境保護上の注意

- 散布液の飛散や流出によって、周辺の有用作物に影響を及ぼすことのないよう十分に注意して散布してください。
- 散布液の飛散によって自動車やカートタンの塗装等へ影響を与えないよう、散布地域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分留意してください。
- 公園、堤とう等で使用する場合、水源地等に本剤が飛散・流入しないよう十分に注意してください。

水産動植物に関する注意

- 水産動植物(藻類)に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

貯蔵上の注意

- 直射日光が当たらない低温な場所に密栓して保管してください。



農林水産省登録第22791号
有効成分:S-メトラクロール:83.7%
毒物及び劇物取締法:非該当

包装:10×6本
有効年限:3年
危険物:第4類第3石油類

シバッチ乳剤の詳細情報・製品安全データシートはこちらから
<http://www.syngenta.co.jp/golf/shibacchi/>

特長

- ◎ダラダラ発生傾向の雑草への対応がバッチシ!
- ◎予算内での雑草管理対策がバッチシ!
- ◎ヒメクグ対策もバッチシ!



適用雑草と使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	メトラクロール及びS-メトラクロールを含む農薬の総使用回数
			薬量	希釈水量			
日本芝	一年生雑草	雑草発生前 (芝生育期)	0.2~0.4ml/m ²	200~300ml/m ²	3回以内	全面土壌散布	3回以内
日本芝 (こうらいしば)	ヒメクグ	ヒメクグ発生前~発生初期 (芝生育期)	0.25~0.4ml/m ²				

効果・薬害等の注意

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 発芽後の雑草に対しては、効果が劣るので必ず雑草発生前に時期を失わないように散布してください。
- ヒメクグに使用する場合は、1回目処理はヒメクグ発生前に、2回目処理はヒメクグ発生前から発生初期に散布してください。
- 有機物の多い土壌や粘土質の土壌では所定範囲内で多めの薬量を散布してください。
- 寒地型西洋芝やパーミュダグラスには薬害を生じる恐れがあるので、付近にある場合にはかからないように注意してください。
- 本剤の使用に当たっては、その日の天候に留意し、降雨が予想される時には使用を避けてください。
- 散布液の飛散や流出によって、周辺の有用作物に影響を及ぼすことのないよう十分に注意して散布してください。
- 使用後の容器は圃場などに放置せず、環境に影響のないように適切に処理してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないように注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の処置を受けてください。
- 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 公園等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。

水産動植物に関する注意

- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使い切ってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないように適切に処理してください。

貯蔵上の注意

- 火気や直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温な場所に密栓して保管してください。



モニュメント®

顆粒水和剤

農林水産省登録第21948号

有効成分:トリフロキシスルフロンナトリウム塩:75.0%

毒物及び劇物取締法:非該当

包装:7.5g×12袋

有効年限:3年

モニュメント顆粒水和剤の詳細情報・製品安全データシートはこちらから

<http://www.syngenta.co.jp/golf/monument/>

特長

- ◎生育期の雑草・後発生の雑草に効果を持つため、除草作業計画にゆとりがもてます
- ◎各種の一年生広葉雑草および一年生イネ科雑草に対して優れた効果を発揮します
- ◎日本芝・パーミュダグラスに対して優しい薬剤です



適用雑草と使用方法

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	1m ² 当り使用量		本剤の使用回数	使用方法	トリフロキシスルフロンナトリウム塩を含む農薬の総使用回数
				薬量(g)	希釈水量(ml)			
日本芝	—	一年生雑草	雑草発生初期～生育期	0.003～0.006	150～250	2回以内	雑草茎葉散布 又は 全面土壌散布	2回以内
		ヒメグサ	春夏期雑草発生初期～生育期	0.0045～0.006				
		スズメノヒエ類	雑草発生初期～出穂前	0.003～0.006				
西洋芝 (パーミュダグラス)	—	一年生雑草	雑草発生初期～生育期	0.003～0.006	100	2回以内	植栽地を除く 樹木等の周辺地に 雑草茎葉散布	2回以内
樹木等	公園、庭園、堤とう、 駐車場、道路、運動場、 宅地、のり面、鉄道等	一年生雑草 及び 多年生広葉雑草	生育期又は刈り取り後再生期 (草丈30cm以下)	0.006～0.012				

作物名	適用場所	適用雑草名	使用目的	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	トリフロキシスルフロンナトリウム塩を含む農薬の総使用回数
					薬量(g)	希釈水量(ml)			
樹木等	公園、庭園、堤とう、 駐車場、道路、運動場、 宅地、のり面、鉄道等	多年生イネ科雑草	草丈抑制による 刈り取り軽減	生育期又は 刈り取り後再生期 (草丈30cm以下)	0.006～0.012	100	2回以内	植栽地を除く 樹木等の周辺地に 雑草茎葉散布	2回以内

モニュメント顆粒水和剤の有効成分であるトリフロキシスルフロンナトリウム塩は非ホルモン型吸収移行性のスルホニルウレア系除草剤です。対象雑草の根部および茎葉部より薬剤が吸収され、アセトラクテート合成酵素(ALS)の活性阻害により雑草を枯死させます。

- ◎寒地型西洋芝およびその付近への散布は避けてください。
- ◎モニュメント顆粒水和剤はごく低薬量でベントグラス、ブルーグラス、ライグラスなどの寒地型西洋芝に対して強い薬害を示します。散布後にプレイヤーの靴、管理機械などによる寒地型西洋芝への薬剤の持ち込みにはご注意ください。具体的には降雨が予想される場合には散布しない、ベントグリーンなど寒地型西洋芝まわり(目安として30m以内)など、プレイヤーの靴による持ち込みが予想される場所への散布は避けるなどの注意が必要です。
- ◎春期における高薬量での使用は、萌芽遅延や黄化の可能性があるため避けてください。
- ◎散布液を調製する際には薬剤を直接タンクに入れず、事前にバケツなどの別容器でよく溶かしてからタンクに投入してください。
- ◎モニュメント顆粒水和剤を散布した散布器具(特に散布車のタンク内、ホース、タイヤ)、目印用ピンなどは、散布終了後直ちに十分に洗浄してください。
- ◎タンク内側の壁面をよく洗浄し満水にした後、ポンプを作動させながら、約半分の水をタンク排水口より、残りを散布ホースから排出してください。この作業を3回以上実施してください。

効果・薬害等の注意

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 本剤は雑草の発生初期から生育期に有効なので、時期を失しないように均一に散布してください。
- 西洋芝(パーミュダグラス)以外の西洋芝では薬害を生じるので使用しないでください。特にゴルフ場においては、西洋芝(パーミュダグラス)以外の西洋芝を使用しているグリーンやティーランド周辺では使用しないでください。
- 本剤の使用に当たっては、その日の天候に留意し、降雨が予想される時には使用を避けてください。
- 本剤の効果は遅効的で、雑草生育期に処理した場合、雑草が完全に枯れるまで30日程度かかるので、まき直しなどをしないでください。
- チガヤに使用する場合、チガヤの生育は抑制されますが、完全枯死には至りません。
- 散布液の飛散や流出によって、周辺の有用作物に影響を及ぼすことのないよう十分に注意して散布してください。
- 公園、堤とう等で使用する場合、水源地等に本剤が飛散・流入しないよう十分に注意してください。
- 本剤の散布液を調製した容器ならびに散布器具は使用後十分に洗浄し、他の用途に使用する場合の薬害の原因にならないよう注意してください。また、洗浄した廃液は、河川などに影響がないよう適切に処理してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないよう注意し、特に初めて使用する場合には、病虫害防除所等関係機関の指導を受けてください。

安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗してください。
- 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんで洗い落とすしてください。
- 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 公園、堤とう等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
- 使用残りの薬剤は必ず安全な場所に保管してください。

水産動植物に関する注意

- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

貯蔵上の注意

- 直射日光を避け、食品と区別し、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。



アグリーン®

顆粒水和剤

農林水産省登録第22358号 包装:50g×20袋
有効成分:ピラゾスルフロンエチル:70.0% 有効年限:4年
毒物及び劇物取締法:非該当

アグリーン顆粒水和剤の詳細情報・製品安全データシートはこちらから
<http://www.syngenta.co.jp/golf/agreenwg/>

特長

- ◎各種広葉雑草・カヤツリグサ科雑草に安定した除草効果を示します
- ◎日本芝だけでなく、ベントグラス、ティーランドでも使用できます



適用雑草と使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	1m ² 当り使用量		本剤の使用回数	使用方法	ピラゾスルフロンエチルを含む農薬の総使用回数
			薬量(g)	希釈水量(ml)			
日本芝	一年生及び 多年生広葉雑草	雑草生育期	0.02～0.03	150～300	3回以内	散布	3回以内
	ヒメクダ ハマスゲ	春夏期雑草生育期					
西洋芝 (ベントグラス)	一年生及び 多年生広葉雑草	雑草生育期					

◆標準的な使用薬量は0.02g/m²

- ◎ 1,000ℓタンクに対して2袋(100g)を目安にご使用ください(散布水量200ml/m²の場合)
(ただし多年生広葉雑草などに対しては、0.03g/m²をお薦めいたします)
- ◎ 発生初期(1～3葉期まで)の散布によって安定した高い効果が得られます
- ◎ イヌノフグリ類、ヤハズソウ、チチコクザ、ジシバリ、チドメグサ、ギンギシ、ヒメスイバ、スミレ類などの雑草に対して安定した効果が得られないので、これらの雑草が優先する場所ではこれらの雑草に対して効果の高い薬剤と組み合わせてください。

効果・薬害等の注意

- 生育の進んだ雑草には効果が劣る場合があるので、時期を失しないように散布してください。
- 周辺の植物にかかると薬害を生じるので、散布の際は芝生の中や付近にある草花や花木、畑作物などに薬液がかからないようその付近での散布はさけてください。
- 本剤散布に用いた器具類は、使用後直ちに洗浄し、他の用途に使用する場合は薬害の原因にならないように注煮してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合や異常気象時は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。
- グリーンでの使用は薬害を生じる可能性があるため避けてください。

安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗してください。
- 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣等を着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。
- 公園等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。

水産動植物に関する注意

- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

貯蔵上の注意

- 直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。

アシュラスター[®]

液剤

農林水産省登録第23081号
有効成分:アシュラム:30.0%
MDBAカリウム塩:3.3%

毒物及び劇物取締法:非該当
包装:1ℓ×12本
有効年限:3年

アシュラスター液剤の詳細情報・製品安全データシートはこちらから
<http://www.syngenta.co.jp/golf/ashurastar/>

特長

- ◎スズメノカタビラや広葉雑草に高い効果を示すため、コースがきれいになります
- ◎散布スケジュールに余裕が持てます



適用雑草と使用方法

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	アシュラムを含む農薬の総使用回数	MDBAを含む農薬の総使用回数
				薬量	希釈水量				
日本芝	—	一年生雑草	雑草発生初期	0.45~0.75ml/m ²	200~300ml/m ²	3回以内	雑草茎葉散布 又は全面土壌散布	3回以内	3回以内
樹木等	公園、庭園、堤とう、駐車場、道路、 運動場、宅地、のり面、鉄道等	多年生雑草	雑草生育期 (草丈30cm以下)	1.5~3.0ml/m ²	100~200ml/m ²		植栽地を除く 樹木等の周辺地に 雑草茎葉散布		
				3.0~6.0ml/m ²					

◆標準的な秋期の使用薬量は0.6ml/m²

- ◎ 1,000ℓタンクに対して3本(3ℓ)を目安にご使用ください(散布水量200ml/m²の場合)
- ◎ 発生初期の散布によって安定した高い効果が得られます
- ◎ カタバミ、チチコグサ、カヤツリグサ類、コニシキソウ、トキワハゼ、オオバコ、ギシギシ、スミシ類には安定した効果が得られませんので、これらが優先する圃場ではこれらの雑草に対して除草効果の高い薬剤を組み合わせるお使いください。

効果・薬害等の注意

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 本剤の所定量を所定量の水にうすめ、よくかきまぜてから散布してください。
- 雑草発生初期に使用する場合、夏季高温時及び芽立ち期の散布は一時的に黄化を生ずる恐れがあるので避けてください。
- メヒシバ、スズメノカタビラには効果を安定させるため、4~5葉期までに使用してください。
- 本剤は1年生イネ科雑草に対し遅効性で、効果の現れるまでかなりの時間を要し、散布時期が遅れると効果が劣るので、時期を失ないように散布してください。
- 広葉雑草のうちカタバミには効果が劣るので、それらの優占する所では使用を避けてください。
- ベントグラス等の西洋芝では薬害を生ずるのでかからないようにしてください。
- 散布薬液の飛散や流出によって、周辺の有用植物に影響を及ぼさないよう十分に注意して散布してください。また、樹木など、有用植物の根が分布していると思われる所では使用を避けてください。
- 散布に使った器具類は良く水洗いして、他の用途に使用する時は影響のないように注意してください。
- 雨水が直接河川、かんがい水、農耕地に流れ込むような場所、特に傾斜地では大雨の予想される場合は散布を避けてください。
- 水源池に本剤が飛散・流入しないよう十分に注意してください。
- 散布器具、容器の洗浄水及び残りの薬液は河川等に流さず、容器、空瓶等は環境に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

安全使用上の注意

- 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。
- 公園、堤とう等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
- 使用残りの薬剤は必ず安全な場所に保管してください。

貯蔵上の注意

- 直射日光をさけ、なるべく低温な場所に密栓して保管してください。



アルテミス®

フロアブル

農林水産省登録第23059号
有効成分:アトラジン:43.9%
メソトリオン:4.4%

毒物及び劇物取締法:非該当
包装:500mℓ x 10本
有効年限:3年

アルテミスフロアブルの詳細情報・製品安全データシートはこちらから
<http://www.syngenta.co.jp/golf/altemistc/>

特長

- ◎幅広い雑草に高い茎葉処理効果を示す晩秋期専用除草剤です
- ◎遅い時期にずれ込みがちな秋の雑草防除計画に余裕がもてます
- ◎異なる2種類の成分により、ウラジロチチコグサ等の難防除雑草の効率的な防除にもお役に立てます



適用雑草と使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	アトラジンを含む農薬の総使用回数	メソトリオンを含む農薬の総使用回数
			薬量	希釈水量				
日本芝	一年生雑草	芝生育期 (生育休止期) 雑草発生初期	0.06~0.1mℓ/m ²	150~250mℓ/m ²	1回	雑草茎葉散布 又は全面土壌散布	1回	1回
	ウラジロチチコグサ							

◆散布タイミングは日本芝の生育休止期から

- ◎芝生育休止期前に使用すると薬害を生じる恐れがあるので、使用時期を誤らないように注意してください
- ◎「芝生育期(生育休止期)」とは、茎葉の一部に緑色が残っていても、生育の停滞している時期を指します

効果・薬害等の注意

- 使用量に合わせて薬液を調製し、使い切ってください。
- 使用前によく振ってから使用してください。
- 生育の進んだズメノカタビラに対して低薬量で使用した場合には除草効果が劣ることがあるので、所定範囲内で多めの薬量を散布してください。
- 「芝生育期(生育休止期)」とは、茎葉の一部に緑色が残っていても、生育の停滞している時期を指します。
- 芝生育休止期前に使用すると薬害を生じる恐れがあるので、使用時期を誤らないように注意してください。
- 寒地型西洋芝では薬害を生じる恐れがあるので、付近にある場合にはかからないように注意してください。
- 砂土、水はけのよい土壌では薬害を生ずるおそれがあるので使用しないでください。また、雨の多い時期、場所での使用はさけてください。
- 散布液を作った容器及び散布機具は使用後十分水で洗ってください。
- 周辺作物に飛散しないよう十分注意して使用してください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、普及指導センター、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

安全使用上の注意

- 誤飲などのないよう注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けてください。
- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗してください。
- 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 公園等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。

水産動植物に関する注意

- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないように適切に処理してください。

貯蔵上の注意

- 直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温な場所に密栓して保管してください。



農林水産省登録第22045号
有効成分:トリフロキシスルフロンナトリウム塩:10.0%
毒物及び劇物取締法:非該当

包装:100mL x 8本
有効年限:3年
危険物:第4類第3石油類

モニュメントフロアブルの詳細情報・製品安全データシートはこちらから
<http://www.syngenta.co.jp/lm/products/monument/shosai.html>

特長

- ◎緑色の景観を維持しつつ、雑草の管理が出来ます
- ◎年間の管理作業時間・回数を軽減できます
- ◎作業者、周囲、環境に対して安全性が高く、安心して使用することができます



適用雑草と使用方法

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	トリフロキシスルフロンナトリウム塩を含む農薬の総使用回数
				薬量	希釈水量			
樹木等	公園、庭園、堤とう、駐車場、道路、運動場、宅地、のり面、鉄道等	一年生雑草及び多年生広葉雑草	雑草生育初期又は刈り取り後再生期	0.05~0.1 mL/m ²	100~250 mL/m ²	2回以内	植栽地を除く樹木等の周辺地に雑草茎葉散布	2回以内
日本芝	—	一年生雑草	雑草発生初期	0.025~0.05 mL/m ²	100~200 mL/m ²		雑草茎葉散布又は全面土壌散布	

作物名	適用場所	適用雑草名	使用目的	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	トリフロキシスルフロンナトリウム塩を含む農薬の総使用回数
					薬量	希釈水量			
樹木等	公園、庭園、堤とう、駐車場、道路、運動場、宅地、のり面、鉄道等	多年生イネ科雑草	草丈抑制による刈り取り軽減	雑草生育期又は刈り取り後再生期	0.05~0.1 mL/m ²	100~250 mL/m ²	2回以内	植栽地を除く樹木等の周辺地に雑草茎葉散布	2回以内

効果・薬害等の注意

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 使用前によく振ってから使用してください。
- 本剤は雑草の発生初期から生育期に有効なので、時期を失しないように均一に散布してください。
- 西洋芝では薬害を生じるので使用しないでください。特にゴルフ場においては、西洋芝を使用しているグリーンやティーブランド周辺では使用しないでください。
- 本剤の使用に当たっては、その日の天候に留意し、降雨が予想される時には使用を避けてください。
- 本剤の効果は遅効的で、雑草生育期に処理した場合、雑草が完全に枯れるまで30日程度かかるので、まき直しなどをしないでください。
- 散布液の飛散や流出によって、周辺の有用作物に影響を及ぼすことのないよう十分に注意して散布してください。
- 公園、堤とう等で使用する場合、水源池等に本剤が飛散・流入しないように十分注意してください。
- 本剤の散布液を調製した容器ならびに散布器具は使用后十分に洗浄し、他の用途に使用する場合は薬害の原因にならないように注意してください。また、洗浄した廃液は、河川などに影響がないように適切に処理してください。
- 使用後の容器は圃場などに放置せず、環境に影響のないように適切に処理してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

安全使用上の注意

- 本剤は皮膚に対して刺激性があるので、散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。
- 公園、庭園等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
- 使用残りの薬剤は必ず安全な場所に保管してください。

貯蔵上の注意

- 火気をさけ、直射日光が当たらない低温な場所に密栓して保管してください。

タッチダウンiQ®

農林水産省登録第22161号 包装:10×10本,50×3本
 有効成分:グリホサートカリウム塩:44.7% 有効年限:5年
 毒物及び劇物取締法:非該当

タッチダウンiQの詳細情報・製品安全データシートはこちらから
<http://www.syngenta.co.jp/cp/items/touchdowniq/view/>

特長

- ◎独自の界面活性剤により、有効成分が雑草にすみやかに拡張・浸透します。
- ◎一年生雑草から多年生雑草まで、幅広く枯らすことが出来、効果の完成度がきわめて高い除草剤です。
- ◎スギナをはじめ、難防除雑草(チガヤ、カヤツリグサ、ススキ、ササ)に対しても高い殺草力を発揮します。
- ◎土壌に吸着すると、微生物により速やかに分解されるので、土壌に蓄積することはありません。



適用雑草と使用方法

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	グリホサートを含む農薬の総使用回数
				薬量	希釈水量			
樹木類	—	—	雑草生育期 (草丈30cm以下)	250~500 mℓ/10a	25~50 ℓ/10a	4回以内	雑草茎葉散布	4回以内
樹木等	公園、庭園、堤とう、 駐車場、道路、運動場、 宅地、のり面、鉄道等	一年生雑草	雑草生育期 (草丈50cm以下)	500~1000 mℓ/10a	10~100 ℓ/10a	3回以内	植栽地を除く 樹木等の周辺地に 雑草茎葉散布	3回以内
		多年生雑草	雑草生育期 (草丈50cm以下)	500~1000 mℓ/10a	10~100 ℓ/10a			
		スギナ	雑草生育期	1500~2000 mℓ/10a	25~100 ℓ/10a			
		ヒレハリソウ	雑草生育期 (草丈50cm程度)	1000~2000 mℓ/10a	50~100 ℓ/10a			
		ススキ クズ	雑草生育期 (草丈100cm程度)					
		ササ類	雑草生育期 (草丈50cm以下)					
		マツヨイグサ類	雑草生育期 (夏~秋期 草丈50cm以下)					
		雑かん木	雑草生育期 (150cm以下)	25~100 ℓ/10a	植栽地を除く 樹木等の周辺地に 切株塗布処理			
			伐採直後	原液又は 2倍希釈液				
		竹類	夏~秋期	5~15mℓ/本	原液			
一年生広葉雑草	雑草生育期	0.1mℓを1~3か所/株 (500mℓ/10a)	2倍	—	雑草茎葉塗布	—		

効果・薬害等の注意

- 本剤はグリホサートを含む農薬ですので、他のグリホサートを含む農薬の使用回数と合わせ、作物ごとの総使用回数の範囲内で使用してください。
- 本剤は展着剤加用の必要はありません。
- 防除しようとする雑草の種類や、大きさ、発生密度によって適正な薬量が異なるので、その程度に応じて適用範囲内で適宜薬量を増減してください。
- 散布後、効果の発現までに一年生雑草では2~4日、多年生雑草では1~2週間を要するので、この間に刈り取らないでください。
- 本剤は土壌中で不活性化するので雑草発生前に散布しても効果はありません。
- 多年生雑草を地上部及び地下部まで含めて枯殺するには、雑草の生育盛期から生育終期または開花期前までに散布してください。
- スギナの防除の際は、スギナ生育盛期を過ぎた時期及びスギナが他雑草に埋没している条件での散布は効果が劣ることがあるので、適期に注意して散布してください。
- クズ、フジ等のつる類の防除の際は、つるの地際近く(50cm程度)に1~3か所浅く傷を付け、所定の薬量を注入してください。
- 土壌が流亡したり、くずれたりするおそれのある所では使用しないでください。
- 激しい降雨の予想される場合は使用をさけてください。
- 農作物や有用植物に本剤がかかると激しい薬害を生じるので、使用の際には風向きなどに十分注意して散布してください。
- 雑かん木に塗布処理をする場合、伐採後、直ちに切り口全面に直接塗布してください。
- 本剤の使用にあたっては、希釈水量10ℓ/10aでは極少量散布専用ノズル、25~50ℓ/10aでは少量散布専用ノズルを使用してください。
- 散布液を調製した容器及び器具は使用後石けん水等で十分洗浄してください。
- 散布器具、容器の洗浄水及び使用残りの薬液は河川等に流さず、空容器等は環境に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 水源池、養殖池等に本剤が飛散、流入しないよう十分注意してください。
- 本剤の使用に当っては使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には普及指導センター、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、普及指導センター、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

安全使用上の注意

- 誤飲などのないよう注意してください。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 使用の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんをよく洗い、うがいをするとともに洗眼してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 公園、庭園等で使用する場合は、使用中及び使用後(少なくとも使用当日)に小児や使用に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
- 使用残りの薬剤は必ず安全な場所に保管してください。

水産動植物に関する注意

- 水産動植物(魚類)に影響を及ぼすので、養魚田では使用しないでください。
- 水産動植物(魚類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 養魚田周辺での使用には、特に注意してください。

貯蔵上の注意

- 直射日光を避け、食品と区別してなるべく低温で乾燥した場所に密栓して保管してください。